

『修報』での感想文一覧（タイトルのみ）

	一般受講生	学 生
創 刊 号	○論語素読会に参加して 論語の魅力／今、大学で学ぶ／ 論語素読会に参加して思うこと ／礼に始まり礼に終わる	○論語素読会に参加して 論語にふれて／論語素読会を受講して／心に残った孔 子のことば／論語―その名言とおどろき／論語につい て私が思うこと／論語素読会に参加して「心に残った名 言」
第 2 号	○論語素読会に参加して思うこ と ― 論語から現代社会を考える ― 論語と現代の世相／徳が及ぼす 重み／啐啄切同時／論語を学ん で思うこと／真理は不滅／論語 素読会参加の意義／裁判	○論語にふれて 「論語」を読んで／「論語」から学んだこと／私が触れ た「論語」／孔子について思うこと／儒教の本質／日本 で孔子の教えに接して
第 3 号	○論語素読会に参加して思うこ と 論語と現代／「温故知新」／論 語について／論語の「礼」は学 級崩壊を救う／論語の思想とは	○論語にふれて 学ぶことと修めること／孔子の教えに接して／「楽」に ついて
第 4 号	○論語を学んで 現代に活かす礼のこころ／報恩 の人生を／論語と道徳／マイン ドコントロール／礼楽	○論語を学んで 思いやる心／今、必要なこと／孔子と平和主義／学歴と 敬語／有教無類／孔子の教え／ 論語から現代へ／ 「仁」とは
第 5 号		○「孔子祭」及び「二十一世紀儒学文化に関する 国際会議」についての学生レポート 四大生レポート：32 通、短大生レポート：26 通
第 6 号	○論語素読教室 出会いと学ぶ姿勢／広めよう 相手を思うこころ／教育の変遷 ／ 信なくば立たず	○学生感想文 『論語』の知恵「食飽くを求めず」を読んで 『論語』の知恵「日に三省す」を読んで×2 『論語』の知恵「学んで時に之を習う」を読んで 『論語』の知恵「人柄は隠せない」を読んで×2

	『論語』の知恵「忠と恕の養い方」を読んで 『論語』の知恵「利と義の依り方」を読んで 『論語』の知恵「富貴と貧賤」を読んで 温故知新に対する皮相的な理解	『論語』の知恵「マルチ人間」を読んで 『論語』の知恵「自分自身を知れ」を読んで 『論語』の知恵「巧言令色鮮し仁」を読んで 『論語』の知恵「私と古典」を読んで×2 『論語』の知恵「徳性をみがく」を読んで 『論語』の知恵「株式投資の要諦」を読んで 『論語』の知恵「論語の徳を人生に活かす」を読んで
第7号	○論語の中の好きな言葉 吾十有五にして学に志し／ 心に響く言葉／不惑憂曜？／ 名言の内面をかみしめる／ 肝銘する一条／ 日暮れて道遠し	○『論語』に関する一言感想文 『論語』に学ぶ「人間学」／『論語』とモラル／ 人生の教科書『論語』／孔子が望んだ「平和」／ たえまない努力と志／人の道と心の芯／「義」を学ぶ場所／ 人生は死ぬまで学び／皆が知っていた『論語』／富貴と「礼」／ 新しい価値観／孔子の思想は「恕」／温故知新／孔子と政治の目標／ 普段忘れている教え／学為り難し
第8号	○論語素読教室 論語を学ぶ「姿勢」／ 儒学と儒教 ○論語の中の好きな章句 (社会人学生) 吾十有五にして学に志し／ 天を怨まず、人を咎めず	○『論語』に関する一言感想文 人類と「礼」／儒学を支えてゆくには／『論語』をもう一度考える／ 「徳性を磨く」／「修己治人」と「平和思想」／「学ぶ」ことと「人の道」／ 「伯夷叔齊」を思う／『論語』を学ぶよろこび／孔子の教えと道徳心／ 建学の精神と『論語』／孔子の求めた「人格の向上」／『論語』のすばらしさ／ みなおされている孔子の教え／今に生かす孔子の哲学／孔子祭にみた大切なこと ○『論語』「過てば則ち改むるに憚ること勿かれ」を詠んで 8人(短大生)
第9号	○論語素読教室 「温故知新」／論語と道徳観／ 儒学と源氏物語 ○論語を学んで思う(社会人学生) 孔子という人／授業で学んだこと／ 四十才になって思う事	○孔子祭に参加して一言感想文 初めて孔子祭に参加して／貴重な体験／大切なこと／ 中国と孔子／「平和」と「人の道」／「修己治人」の教え／ 『論語』の大切さ／温故知新 ○論語を学んで思う 富と貴きについて／教育とは／守るべきルール ○論語素読一言感想文 ○「学びて時に之を習う」を学んで ○「己の欲せざる所を人に施すこと勿れ」を学んで

第 10 号	○論語素読教室 「牆に攻めげど」／「文字と言 葉は生きている	○『論語』を学んで 『論語』から得る生活のヒント／身をもって知る論語の ことば／儒学に学ぶ福祉の心／共感させられた四つの 章句／名言から多くを学んで／孔子の理想にふれて／ 大切なものは今も変わらず／人間の進化とモラル／心 の芯となってきたもの
第 11 号	○論語素読教室 「儒学の精神を生かすため」（目 標をもって、平和のために）／ 「儒学と武士道精神」／「温故 知新」	○『論語』を学んで一言感想文 「義を見て為さざるは勇無きなり」／「未だ貧しくして 道を楽しみ、富みて禮を好む者には若かざるなり」／「子 曰わく、人の生くるや直し。之を罔いて生くるや、幸に して免るるなり」／「子曰わく、知者は惑わず、仁者は 憂えず、勇者は懼れず」／「義を見て為さざるは勇無き なり」／「子曰わく、巧言令色、鮮なし仁」／「子曰わ く、吾十有五にして學に志し、三十にして立ち、四十に して惑わず、五十にして天命を知り、六十にして耳順い、 七十にして心の欲する所に従えども、矩を踰えず」 ○儒学を学んで 儒学と昌平覺について／「子曰わく、学びて時に之を習 う、亦説ばしからずや。朋遠方より来たる有り、亦樂し からずや。人知らずして慍みず、亦君子ならずや」／「己 の欲せざる所を人に施すこと勿れ」